

イギリスの Cambridge 大学、Information Engineering の Control Group Ph.D.コースに在籍し、早二年が過ぎようとしております。こちらでの研究生活や学業、および日常生活について報告いたします。

#### 【ティーチングアシスタント・研究進捗状況】

前回のレポートを書いた時期はちょうどすべての授業の試験が終わり、First year report の執筆に取り掛かろうか、という時期でしたが、その後 First year report を提出し、口頭試問では好意的な評価を受け、無事一年目の関門を突破することができました。試験の成績も上々でしたので、二年目の順調なスタートを切ることができました。

私の所属する Control Group では、たくさんのティーチングアシスタントの仕事が回ってきます。一年目にもいくつか引き受けましたが、二年目となる今年度は、さらに多くの授業のティーチングアシスタントを経験しました。ティーチングアシスタントの種類は大きく分けてふたつあります。ひとつは Demonstration といって、学部生の実験や実習に加わり、実験の方法を説明したり、質問に答えたりするものです。10~20人ほどの学生を相手にしなければならないので、質問が集中するとかなり大変です。もうひとつは Supervision といって、1グループ2人か3人ほどの学生を相手に、一回につき一時間の個別指導を行います。内容は授業の補佐で、授業のレジュメや問題集を学生がきちんと理解しているかをチェックし、理解が不十分なところを解説します。英語での指導ということに加え、私は修士課程と PhD で専攻を変えていますのでなおさら大変ですが、非常にいい経験となりますし、私自身にとっても専攻分野の理解を深める助けになるので、今後も積極的に続けていきたいと思っています。まだまだ英語でしどろもどろになってしまうことも多く、自分でも「こんな英語で理解できるのかな」と思いながら話していることもあるのですが、案外通じているようで、私にとっては専門の話英語で説明するいい練習にもなっています。

上記のようにティーチングアシスタントでかなり忙しい二年目を送っていますが、もちろん毎日の活動は自分の研究がメインです。ある程度まとまった研究成果も出ましたので、指導教員にも勧められ、この三月に査読付き会議に論文を提出しました。今は結果を待っているところですが、無事審査に通れば、PhD を始めてから初の国際会議での口頭発表となります。まだ結果がでていないので満足するのは早いのですが、私も指導教員も内容に自信を持っていますし、研究成果が目に見える形となったことで、モチベーションの向上にもつながりました。また、論文にまとめるために研究内容を細部まで詰めて検討したことで思わぬ新しい発見や飛躍もあり、二年目の研究もますます順調に進んでいます。

#### 【ケンブリッジ日本人会】

今年度は Cambridge 大学の日本人 Society である“十色会”の会長を務めており、たくさんの方々と知り合うことができました。十色会は主に Cambridge にいる日本人や日本に興味のある学生や研究者の方々が構成されていて、主な活動内容は毎月のセミナーです。明してくださり、とても興味深いです。

私も昨年の十一月に発表したのですが、専門家でない方々に発表するのは初めてだったので、いい経験になりました。また、会長である今年度は、たくさんの方に「十色会があって本当によかったです。」と書いていただく機会があり、改めて十色会の重要性を感じているところです。

#### 【パーティー】

イギリスだからなのか、それともケンブリッジ独特の文化なのか、こちらでは学生の集まりでもよくドレスコード付きのパーティーがあります。ラウンジスーツ、ブラックタイなどなど、いろいろなドレスコードがあるのですが、最初のころは違いがよくわからず、インターネットでよく調べていました。定期的にあるカレッジのイベントが主な機会ですが、中でもクリスマスはヨーロッパでは重要なので、カレッジでも私の所属する **Control Group** でもクリスマスディナーを開催して、みんなで集まります。日本の忘年会のような位置づけでしょうか。雰囲気はだいぶ違いますが。



Gonville and Caius カレッジのクリスマスディナー集合写真



Control Group のクリスマスディナー集合写真

### 【Grantchester – Cambridge の隣町】

なかなか気持ちよく晴れることの少ないイギリスですが、緑の多い Cambridge は晴れると本当にきれいです。最近、お天気のいい日には隣町の Grantchester まで足を伸ばし、The Orchard というティーガーデンの屋外席でスコーンと紅茶を楽しんでいます。これといった娯楽は少ない Cambridge ですが、こんなんびりした休日の過ごし方もいいものだなあと思います。



Grantchester の自然



The Orchard Tea Garden

留學生活も二年目でだいぶ慣れ、この一年はよりたくさんの方に挑戦できたと思います。とはいえまだまだやりたいことはたくさんあるので、時間を見つけて頑張りたいと思っています。たとえば、Cambridge 大学では、専門分野のセミナー以外にも、プレゼンテーション能力や論文用ライティング能力向上のためのセミナーなど、研究者として重要な能力を磨くためのセミナーが多数開催されています。PhD 取得後のことも見据え、幅広く自分の能力を磨くべく、このようなセミナーにも今後は積極的に参加していこうと考えております。